

役員等報酬規程

(目的)

第1条 この規程は、社会福祉法人土佐七郷会の役員等の報酬等について定める。

(定義)

第2条 本規程でいう役員等とは、理事及び監事、評議員及び法人が定める各種委員会に於ける外部委員をいう。

(理事会及び評議員会、各種委員会の出席報酬等)

第3条 法人役員が理事会に出席したときは、別表1により1日分の報酬を支払う。

2 評議員が評議員会に出席したときは、別表1により1日分の報酬を支払う。

3 法人が定める各種委員会に出席した委員には、別表1により1日分の報酬を支払う。

(理事及び評議員の業務報酬)

第4条 理事長が理事会及び評議員会以外の日において、法人及び施設の運営のための業務にあたった場合は、別表2により報酬を支払う。

2 理事が理事会以外の日において、理事長の命を受けて法人及び施設の運営のための業務にあたった場合は、別表2により報酬を支払う。

3 評議員が評議員会以外の日において、理事長の命を受けて法人及び施設の運営のための業務にあたった場合は、別表2により1日分の報酬を支払う。

(監事の業務報酬等)

第5条 監事が理事会及び評議員会に出席した場合は、別表1により1日分の報酬を支払う。なお、同日に開催された評議員会に出席したときは、評議員会出席に係る報酬は支払わない。又、同日に合わせて監事業務を行った場合であっても、報酬は支払わないものとする。

2 監事が理事会及び評議員会以外の日において、法人及び施設の指導監督者への立ち合い及び運営状況の指導又は監査の業務にあたった場合は、別表2により報酬を支払う。

(専務理事及び施設長の業務報酬)

第6条 専務理事及び施設長の報酬は、土佐七郷会職員給与規程により支払う。

2 満60歳を超えた年度以降の専務理事及び施設長の報酬は、別に定める「役員等報酬（専務理事・施設長）細則」により支払うものとする。

(外部委員等の勤務報酬等)

第7条 法人が委嘱した各種外部委員が各種委員会に出席した場合は、別表1により報酬を支払う。なお、同日に二つの委員会に出席した場合であっても、1回分の報酬を支払うものとする。

2 外部委員が各種委員会以外の日において、法人及び施設に係る業務にあたった場合は、別表2により報酬を支払う。

(出張旅費)

第8条 法人役員及び評議員が、法人業務等のため出張する場合は、土佐七郷会職員旅費規程により支給する。

(交通費)

第9条 法人理事会及び評議員会の出席者に対する交通費は、次の通りとする。

(1) 交通機関利用の場合は、実費額を支給する。

(2) 自家用車を使用する場合は、往復距離に応じて1勤務あたり、1kmにつき20円を支給する。

(適用除外)

第10条 施設の職員が兼務する役員等には、この規程は適用しない。

(改正)

第11条 本規程の改正は、理事会及び評議員会の議決を経なければならない。

この規程は、昭和63年6月13日より適用する。

改定	平成13年	3月10日
改定	平成15年	3月30日
改定	平成21年	6月14日
改定	平成23年	6月 1日

改定	平成 2 7 年	4 月	1 日
改定	平成 2 9 年	4 月	1 日
改定	令和 4 年	1 月	1 日
改定	令和 7 年	4 月	1 日

別表 1 (日額)

名 称	報酬額	備 考
理事会出席報酬	7,000 円	表記から源泉徴収した額
評議員会出席報酬	7,000 円	〃
各種委員会出席委員報酬	7,000 円	〃

別表 2 (日額)

名 称	報酬額	備 考
理事長業務報酬	10,000 円	表記から源泉徴収した額
理事及び評議員業務報酬	10,000 円	〃
監事の業務報酬	10,000 円	〃
各種委員の業務報酬	10,000 円	〃

社会福祉法人土佐七郷会 役員等名簿

令和7年4月1日 現在

役 員 名	氏 名	職 業 等
理事長	モリモト タカオ 森本 孝男	元社会福祉法人 土佐七郷会 専務理事・施設長
理事	フクドメ ヨ 福留 むつ代	幡東保護司・家庭裁判所調停委員
理事	サカモト 坂本 あや	黒潮町社会福祉協議会 会長
理事	ナガサキ カズヒサ 長崎 一久	元社会福祉法人 土佐七郷会 施設長
理事	ヤマワキ カツヒト 山脇 克仁	社会福祉法人 土佐七郷会 施設長
理事	カネコ ショウイチ 金子 章一	元社会福祉法人 土佐七郷会 専務理事
専務理事	シノダ ユウジ 篠田 裕次	元社会福祉法人 土佐七郷会 施設長
監事	オジマ フミオ 小島 文雄	社会福祉法人 高知県知的障害者育成会 理事 社会福祉法人 高知西県南福祉協会・一条協会 評議員
監事	マツダ ハルキ 松田 春喜	元 黒潮町副町長
評議員	ウラタ マコト 浦田 信	神官 保護司
評議員	ハシダ ヒデヨ 橋田 秀代	元大方町議会議員 黒潮町民生委員
評議員	シマムラ タダシ 島村 忠司	元社会福祉法人一条協会理事・施設長
評議員	ノナミ セイジ 野並 誠路	元黒潮町役場 職員 元田野浦地区 区長
評議員	カミ オカ ケイ 上岡 敬	多機能事業所アオ 統括責任者 就労・生活支援事業 主任就業支援員
評議員	ムラカミ ケンタロウ 村上 健太郎	特別非営利活動法人NPO砂浜美術館 理事長
評議員	タムラ マサト 田村 真人	特別養護老人ホーム 施設長
評議員	マツイ カズヒサ 松井 和久	元大方青少年育成会 常務理事 鞭地区 区長

令和7年度 理事 7名、 監事 2名、 評議員 8名 の役員等構成

役員等報酬規程(専務理事・施設長)細則

(目的)

第1条 この細則は、社会福祉法人土佐七郷会の役員等報酬規程第6条に規定する専務理事及び施設長の報酬等について定めるものである。

(定義)

第2条 専務理事とは、法人事務局に専従で業務する常勤の理事をいう。

2 施設長とは、法人事業所に常勤で業務する管理者をいう。

(専務理事の任期の上限)

第3条 施設長を退任後、専務理事に就任した場合の任期は、原則2期4年間とする。

(施設長の任期の上限)

第4条 満60歳を超えて施設長に就任した場合の任期は、原則3期6年間とする。外部より就任した場合も同様とする。

(専務理事の報酬)

第5条 専務理事の報酬は、施設長を兼務する期間においては、土佐七郷会職員給与規程により支払う。また、兼務期間中の業務手当として月額20,000円を支払う。

2 施設長を退任後、専務理事に就任した場合の報酬は、年俸制として別表1により支払うものとする。

3 専務理事の主な業務は、別表2のとおりとする

(施設長の報酬)

第6条 施設長の報酬は、土佐七郷会職員給与規程により支払う。外部より就任した施設長も同様とする。

2 施設長が第4条による任期の上限を超えて再任された場合の報酬は、現行を据え置き昇給はしないものとする。

(出張旅費)

第7条 専務理事及び施設長が、法人業務等のため出張する場合は、土佐七郷会職員旅費規程により支給する。

(改正)

第8条 本規程の改正は、理事会の議決を経なければならない。

この規程は令和 4年 4月 1日より適用する

改定 令和 7年 4月 1日

別表1 専務理事の報酬

名 称	報酬額	備 考
専務理事	3,900,000 円	専務理事と施設長を兼務する場合は施設長報酬に＋240,000 円

※専務理事の報酬は平均的な施設長の報酬の60%とする。

別表2 専務理事の主な業務

名 称	主 な 業 務 内 容
専務理事	1 法人の事業計画の作成と評価 2 各規定等の改正 3 法人理事会・評議員会に関わる事務 4 人材育成・人材確保の調整・相談など 5 各施設、事業所間の調整・相談など 6 その他、法人に関すること